

伊賀市上野西部 公民館だより



第 132 号

平成 26 年 4 月 15 日

編集発行:上野西部公民館

所在地:伊賀市上野福居町

TEL・fax 0595-23-9779

上野西部地区の人口 世帯数 1,481 人口 3,362 人(内男 1,594・女 1,768) 26.3.31 現在

往古川の水をきれいにしよう

3月19日(木)四日市市の神前地区コミュニティ・プラント整備事業の視察研修がおこなわれました。三滝川へ生活排水などが直接流入し汚染がひどくなり又海の汚濁もはげしく総量規制を受け設置されたプラントです。平成14年完成。計画人口2,900人・計画1日最大汚水量1,430立方メートルの処理能力・長時間ばっ気処理方式の施設。



設置前の状況は上野地区の往古川への生活排水の放流によく似ていました。

生活環境の改善と環境の保全を目指しましょう

≡ 伊賀市上野西部公民館だより ≡

伊賀上野 **NINJA** フェスタ

平成26年4月 ごみ出しルールが変わりました



上野西部地区では3月7日・9日にふれあいプラザと上野西部公民館に於いてごみ分別等に関する説明会(下写真)が開催され両会場共120名を超える住民が参加されごみ処理問題に強い関心を持たれていることが感じられました。誤った持ち出しをされると回収されません集積場周辺の方に迷惑がかかります“ごみ分別ガイドブック”を参照して正しくごみ出しを行って下さい。

☆分別に関するお問い合わせ 廃棄物対策課 ☎20-1050

☆収集に関するお問い合わせ さくらリサイクルセンター ☎20-9170



伊賀市の文化財

上野西部地区編 No. 1 1

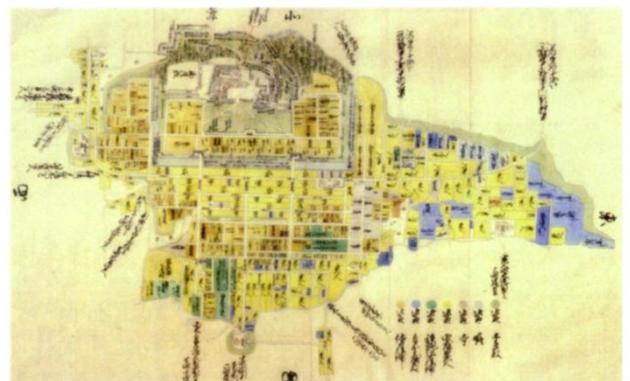
伊賀市教育委員会発行 “伊賀の文化財” より

市37 どうどうけしよえんごてん ごもん
建造物 藤堂家所縁御殿の御門 **MAP C-5**
時代 江戸 所在地 上野丸之内117 (伊賀流忍者博物館)
指定年月日 平成16年9月30日 備考 ☎23-0311
員数 1棟



柱間2.75m、高さ約4m。2本の本柱の上部を冠木で連結し、両端に梁をかけ切妻屋根を支えている棟門です。江戸中期のものと考えられますが、当初御殿にあったものが、現在伊賀流忍者博物館内に移築されています。

市184 うえのじょうかまちえず
歴史資料 上野城下町絵図
時代 江戸 所在地 上野鍛冶町
指定年月日 平成16年2月26日 備考
員数 1幅



横71.0cm、49.5cm。享保16年から元文2年(1731～1737)の上野城下町の様子を示す絵図で、特に侍屋敷の記載においては、侍が役職により屋敷が移動すると、その部分を茶色で塗りつぶし、その上に新たに侍名を書き入れるといった工夫が見られます。

電話 詐欺 チェック シート

※ 不審な電話が架かってきたら、電話を切った後、落ち着いて電話の内容をチェックしましょう。該当があれば、直ぐ警察に相談しましょう。

- 警察官や銀行協会職員等を名乗る者から電話があった
- 「あなたの口座が犯人に使われた」などと言われた
- 医療費や税金の還付があり、今日が期限なのでATMへ行くように指示された
- 息子や孫から「携帯電話をなくした」「電話番号が変わった」と連絡があった
- 封筒が届いた人しか買えないので名義を貸してほしいと言われた
- 知らない業者からパンフレットや電話で投資を勧誘された
- 通帳やキャッシュカードのことを聞かれた
- 業者から「あなただけ限定」「儲かる」「2倍、3倍で買い取る」「損したお金が戻ってくる」などと言われた
- 現金を「ゆうパック」や「レターパック」等で送るように指示された
- 銀行協会がお金を預かりますと言われた
- 自宅まで現金等を取りに行くと言われた
- 早く振り込まないと他の会員に迷惑がかかるといわれた
- 銀行内に犯人がいるのであなたの預金が引き出されるかも知れないといわれた

伊賀警察署

料理教室開催 3月12日 西部にんじん



早春の季節に合わせ今回は、ちらし寿司を作ってみました。

上に錦糸卵や刻みのり、紅ショウガ、キヌサヤなど色とりどりでメインにうなぎとえび 華やかな見た目の美しい位出来上がりとなっていました。

副采に、春野菜のからし和えが春を伝えていました、デザートは牛乳寒天いちご添えでした。

料理の話など食べながら楽しく歓談しました。

次回の参加をおまちしています。



往古川クリーン作戦



本年の往古川のクリーン作戦（清掃事業）を3月29日（土）に行いました。

往古川の水をきれいにしよう会に関係する地域の皆様45名の参加をいただき午前9時より往古川周辺の清掃活動を行いました。紙・ペットボトル・コーヒー缶など色んなものが捨てられており、70ℓの袋が15袋集まりました。以前に比べごみの量はすこし少なくなっておりますが、今後も不法投棄をなくす、させない運動を続けていきましょう。



年輪

年輪伊賀句会

平成二十六年三月

藪椿修二会の行の火を恋ひぬ

尚子

東風吹くや番屋の辻に芭蕉句碑

愛子

雨乞ひの神は九頭龍落の花

アサ子

うくいすや御柱赤き倉の神

石火

雪割いちげに見ゆ丁石たどり来て

孝子

糶浸す蔵の神守る伊賀小村

まさ子

橋の左右春の水音異なれり

秀美

丁石の文字の鈍角春の蜘蛛

良

罅深くはしる丁石田螺鳴く

みよ

蚪蚪生まれ水うらうらと照り淀む

禮子

うくいすや丁石深き薬研彫

美代子

偕老の吉日孫の入学す

則芳

雪割いちげ咲くや襲の色目濃に

陽代

百千鳥朱殿におはす倉の神

誠

雪割いちげ増ゆる花数日がさして

ちい

みくまりの番屋の村の畦を焼く

武

梅一輪雪に折れたるまま咲けり

澄子



雪割いちげ